



日本学校ソーシャルワーク学会 全国大会

第18回 埼玉大会

大会要項 (第1報)

日程：2024年8月24日(土)・25日(日)

会場：文教大学 越谷キャンパス (埼玉県越谷市南荻島 3337)

大会テーマ

学校におけるソーシャルワークの課題と展望

～私たちはどのようにスクールソーシャルワーカーになっていくのか?～

ご挨拶

日本学校ソーシャルワーク学会第18回全国大会を開催するにあたり、大会校を代表し一言ご挨拶させていただきます。

近年、ミクロ・メゾ・マクロな視点を持ったソーシャルワーク実践がますます求められる社会になってきました。そんな中、学校・教育現場においてもそのニーズはこれまで以上に高まっています。しかし一方で、私たちは与えられた職名を名乗れば、自然とスクールソーシャルワーカーになっていくのでしょうか。ご承知の通り、スクールソーシャルワーカーはスーパーマンでも魔法使いでもありません。そもそも一人で何かを成し遂げられる職種でもありません。そうであるならば、スクールソーシャルワーカーそしてその研究者は、教職員や他の専門職、時には地域住民や保護者、そしてなにより目の前の子どもたちから多くのことを真摯に学ぶ姿勢が求められます。そして、かれらに寄り添いながらその困難さを想像し、かれらと共に未来を創造していく価値・知識・技術、そしてネットワークが必要です。変化の大きなこの社会情勢にあって、新人であろうとベテランであろうと、主体的に成長し続けなければなりません。今大会が、日々多忙な皆さんにとって、仲間と研鑽を重ね、立ち止まって自分の足元を確かめる1つの機会となれば幸いです。

昨夏より関東甲信越ブロック運営委員を中心とした実行委員会を立ち上げ、鋭意準備を進めております。会場の都合で至らぬこともあろうかと思いますが、参加される皆様一人ひとりにとって有意義な学びの場となるよう、また少しでも英気を養える空間となるよう努めてまいります。多くの方のご参加、お待ちしております。

第18回全国大会 大会長
宮地 さつき (文教大学)

☆大会プログラム

8月24日（土）事前研修

TIME	SUMMARY
9:30	受付開始
10:00	<p>【公開研修】「復興小学校にみる教育機能と地域社会—福祉の視点から考える学校建築試論—」 講師：小林 正泰（共立女子大学 准教授） コーディネーター：福間 麻紀（北海道医療大学 准教授）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><研修のねらい> 【受講資格:どなたでも可 定員:なし】 昨年は関東大震災100年ということで、震災・復興に多くの関心が寄せられた。本研修の題目にある「復興小学校」とは、関東大震災で焼失した木造の小学校が鉄筋コンクリートで再建されたものを指す。この「復興小学校」は「復旧ではなく復興」を目指し、学校建築を通じて当時の様々な社会問題を解決するとともに、次世代を担う子どもを育成する新しい教育を実現しようとしたものだった。 この「復興小学校」を教育と地域社会の2つの軸から切り取ることで、学校教育および社会教育の物理的環境としての学校建築の機能が見えてくる。教育の軸から見えることは、当時隆盛していた新教育(児童中心主義)との関係や、衛生・公害等の都市問題、あるいは新中間層や工場労働者といった新しい社会階層との関係である。地域社会の軸からは、教育環境の整備に尽力し学校を支えると同時に、地域施設として学校を利用するという、地域社会と学校との双方向の関係である。 以上のように復興小学校を見たときに、福祉の視点から学校建築を捉える視座が得られるのではないかと仮説から、学校建築の福祉的機能について考える機会としたい。</p> </div> <p>【専門研修】「学校現場における社会的養護を受けて暮らす子どもたちへの支援の在り方—スクールソーシャルワーカーの役割を考える—」 講師：中村 豪志（早稲田大学社会的養育研究所 研究助手） コーディネーター：佐々木 千里（立命館大学 非常勤講師）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><研修のねらい> 【受講資格:学会員限定 定員:なし】 現在、日本の社会的養護は、2016年児童福祉法改正、2017年「新しい社会的養育ビジョン」の策定、2022年児童福祉法の更なる改正を契機として、大きな転換期を迎えている。 児童虐待など何らかの理由で親と一緒に暮らせない事情が生じた子どもは、日本ではこれまで施設等による養育が一般的となっていた。しかし近年では、実家庭により近い環境で、子どもへの細やかなケアを提供する目的から里親等による家庭養育が推進されている。こういった中で、学校がどのような役割を果たすのか、今後の日本の社会的養護を考えるうえで重要なテーマの一つとなる。 そこで、本研修では、学校現場における社会的養護児童への支援の在り方を考えるとともに、スクールソーシャルワーカーの役割に焦点を当てる。里親家庭や施設で暮らす子どもは、実親、里親、施設や児童相談所職員など様々な関係者の関わりがあり、近年では子どもの声を聞く「子どもアドボケイト」の取組も活発となっている。そのような中で、教育権を保障する学校現場の大切さと、それをふまえて、子どものためにスクールソーシャルワーカーが果たすべき役割について改めて考える機会としたい。</p> </div>
12:00	

<受講料> 各 1,000 円

<事前研修申し込み方法> P6～「大会案内」の手順に従ってください。

8月24日（土）本大会 1日目

TIME	SUMMARY
12:30	受付開始
13:00	開会挨拶
13:10 14:10	基調講演 「一人の子どもや若者も取り残さないためのソーシャルワーク実践」 講師：青砥 恭（NPO 法人さいたまユースサポートネット 代表理事）
14:20 16:30	大会シンポジウム 「学校におけるソーシャルワークの課題と展望 ～私たちはどのようにスクールソーシャルワーカーになっていくのか～」 シンポジスト 清水 克修（横浜市教育委員会 統括スクールソーシャルワーカー） 弓田 香織（長野県教育委員会 スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー） コメンテーター 渡辺 裕一（武蔵野大学 教授） アドバイザー 青砥 恭（NPO 法人さいたまユースサポートネット 代表理事） コーディネーター 新藤 こずえ（上智大学 准教授）
16:45 17:45	年次総会 会員の皆様は、ふるってご出席ください。
	情報交換会会場へ移動
18:00 20:00	情報交換会 会場:文教大学越谷キャンパス学食 2 階

課題研究

【第2分科会】「不登校対応の課題とスクールソーシャルワーカーの活動」

企画者：野田 正人（立命館大学 特任教授）

コメンテーター：岩田 美香（法政大学 教授）

<趣旨>

機会確保法制定後の不登校の急増を受けて、一人一台端末の充実や COCOLO プランの制定、学びの多様化学校やスペシャルサポートルームの設置推進など、矢継ぎ早に多様な施策が打ち出されている。この状況下でスクールソーシャルワーカーの活動は、十分な議論を経ぬまま、結果的に巻き込まれている感じすらうける。本分科会では、教育分野の制度を意識した課題研究の一環として、あらためて不登校をとりあげ、制度と実践上の課題について分析する。

【第3分科会】「子ども・若者のメンタルヘルスとスクールソーシャルワーク」

企画者：藤澤 茜（香川県教育委員会等スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー）

山本 操里（宮城県教育委員会スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー 他）

<趣旨>

近年、児童虐待やいじめ被害、自死、自然災害、新型コロナウイルス感染症など、子どものメンタルヘルス課題への対応の重要性が注目されるようになってきた。特に、子どもや若者が受けるメンタルヘルスへの影響は、将来にわたって何年も続く可能性が高いため、適切な支援が求められる。しかし、成長発達のプロセスを視野に入れた支援は、個別性も高いとされており、その支援の重要性と難しさを現場レベルで感じることは多いように思われる。そこで、本分科会では、子ども・若者のメンタルヘルスに関する現状や課題について理解を深め、スクールソーシャルワークにおけるメンタルヘルス支援の在り方について検討する機会としたい。

【第4分科会】「スクールソーシャルワークの実践と研究」

企画者：山野 則子（大阪公立大学 教授）・野尻 紀恵（日本福祉大学 教授）

<趣旨>

ソーシャルワーク専門職のグローバル定義では、ソーシャルワークは、「社会変革と社会開発、社会的結束、および人々のエンパワメントと解放を促進する、実践に基づいた専門職であり学問」である。日本においてもスクールソーシャルワークが学校でソーシャルワークを行う専門職となりうるために、また、子どもや子どもを取り巻く環境にいる全ての人の well-being を高め社会変革を促すためにも、実践と研究の往還が重要である。本課題研究では、実践と研究の協働による研究事例および実践事例を紹介し、実践・研究の往還について考える。

【自主企画】「子どもの自殺予防のためにスクールソーシャルワーカーができること」

企画者：金子 典子（東京都内教育委員会スクールソーシャルワーカー）

コメンテーター：横井 葉子（聖徳大学 准教授）

<趣旨>

本課題研究分科会では、子どもの自殺予防対策のためにスクールソーシャルワーカー（以下、SSWr）ができることについて、福祉・医療・心理の観点から話題を提供し、分科会参加者と一緒に考えることを目的とする。子どもの自殺予防概論をふまえ、SSWr が医療受診の継続支援や地域ケアの導入、学校におけるケースマネジメント等の機関連携のサポートに果たすべき役割について議論する。包括的な子どもの自殺予防対策: Comprehensive Prevention for Adolescent Suicide at School (COMPASS) のプログラムを立花良之氏（信州大学医学部周産期こころの医学講座）より、心理社会的困難を抱えた子どもに対する心理的支援、校内体制の構築を自殺予防対策・研修に携わっている東京都シニア・カウンセラーの柴田恵津子氏（東京都西部学校経営支援センター経営支援室）より、話題提供を行う。

16:00 終了（各分科会会場にて終了）

☆大会案内

1 参加区分と費用

		会 員	非 会 員	学生/大学院生	情報交換会
事前研修		1,000 円			
本 大 会	早期登録 (5/13~6/30)	3,000 円	4,000 円	2,000 円	5,000円 (先着)
	通常登録 (7/1~8/25)	5,000 円	5,000 円	3,000 円	

※ 情報交換会は、定員になり次第受付を終了します。

※ 「学生/大学院生」で登録された方は、大会当日、受付の際に学生証を確認させていただきます。

※ 情報保障、託児を希望される方は、早期登録でお申し込みください。詳細は後記の「7」「8」をご確認ください。

2 申し込みと参加費支払い方法

今回は「Peatix(ピーティックス)<https://peatix.com/>」というプラットフォームからの申し込みになります。申し込みと参加費の支払いが同時に行われます。

《Peatix(ピーティックス)アカウントの作成方法》

新規に Peatix をご利用になる場合はアカウントの作成(無料)が必要になります。登録料や手数料などは一切発生しません。アカウントは Peatix ホームページのトップページの右上「新規登録」をクリックすると表示される [新規登録画面](#) から作成できます。[規約](#) をご確認くださいの上、メールアドレスもしくは外部サービスアカウント (Facebook/Twitter/Google/Apple) を使って作成してください。

第18回埼玉大会のチケットを購入する方法

早期登録期間は【2024年5月13日(月)~6月30日(日)】です。

- ① 大会ホームページにある Peatix の URL(5 月上旬掲載予定)からアクセスし、イベントの日時、内容を確認し、「チケットを申し込む」のボタンをタップ
- ② チケットの枚数を選び、支払方法を選択後、ログインへ進む
※ チケットの種類がいくつかありますので、お間違えの無いように選択してください
尚、チケットの金額は税込価格です
- ③ アカウントを登録する
- ④ アンケート申し込みフォームに回答を入力する
- ⑤ 支払い方法を選び、情報を入力する
- ⑥ 名前を入力する
- ⑦ 申し込みが完了すると、申し込みの完了をお知らせするメールが登録したメールに届きますのでご確認ください。また領収書はメールからダウンロードできます。

注1 チケットは、パソコンやスマートフォンから申し込みます。スマートフォン以外の電話やメールからは申し込みません。利用する端末や決済方法によって申し込み画面が異なります。ご希望の申し込み方法を確認してください。

注2 支払い方法はクレジットカード、デビットカード、プリペイドカード、コンビニ／ATM 支払、PayPal／銀行口座振替払いの中から選べます。その際コンビニでの支払いは220円の手数料がかかります。お支払いを行う金融機関の ATM によっては振込手数料や時間外手数料がかかる場合があります。

注3 イベント参加の一般的な申し込み方法は Peatix のホームページにある「参加者ヘルプ」(<https://help-attendee.peatix.com/>)をご参照ください。

《当日のお申込みの場合》

当日の申込みは受付にてご案内いたします。同様に Peatix からの申込みとなります。当日までにご自身で Peatix のアカウントを作成しておいていただくとスムーズに受付ができますので、ご準備いただきますようお願いいたします。大会受付のキャッシュレス化にご理解とご協力をお願いいたします。

3 要旨集について

今大会では、ペーパーレス化のため、印刷物での要旨集の配布は行いません。

紙媒体を要する方は、大会ホームページに掲載されていますデータを各自、ダウンロード、印刷する等でご準備ください。

4 昼食

会場にて食事をしていただくことは可能です。ゴミ等については各自で処理していただきますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

大会当日、文教大学内の学生食堂は営業予定です。また、大学近隣にも飲食店がございますので、ご活用ください。

5 情報交換会について

日 時:8 月 24 日土曜日(本大会1日目) 総会終了後

会 場:文教大学越谷キャンパス学食 2 階 定 員:100名(先着)

なお、情報交換会のみ参加はできません。定員となり次第、受付を終了しますのでご了承ください。

6 宿泊の手配について

大会事務局では宿泊の手配は行っておりません。各自でご用意いただきますようお願いいたします。

7 託児について

託児を実施しています。詳細が確定次第、大会 HP や第 2 報にてご案内いたします。

ご利用を希望される方は、早期登録期間中に、申し込みフォームの指示に従って必要事項を明記ください。当日申し込みでのご利用はお受けしかねます。ご了承ください。

8 情報保障について

大会1日目に関しては、「要約筆記」を行います。ただし、事前研修については、早期登録申し込みの上、申込フォームの備考欄にてその旨ご一報ください。2日目に関しては事前に大会事務局までご連絡ください。

なお、当日のご相談には対応できない場合もありますのでご承知ください。

9 駐車場について

越谷キャンパス内には十分な駐車スペースはありません。原則、公共交通機関でお越しください。なお、足が不自由等によりやむを得ずお車でお越しの方は、早期登録の上、申込フォームの備考欄にてその旨ご一報ください。

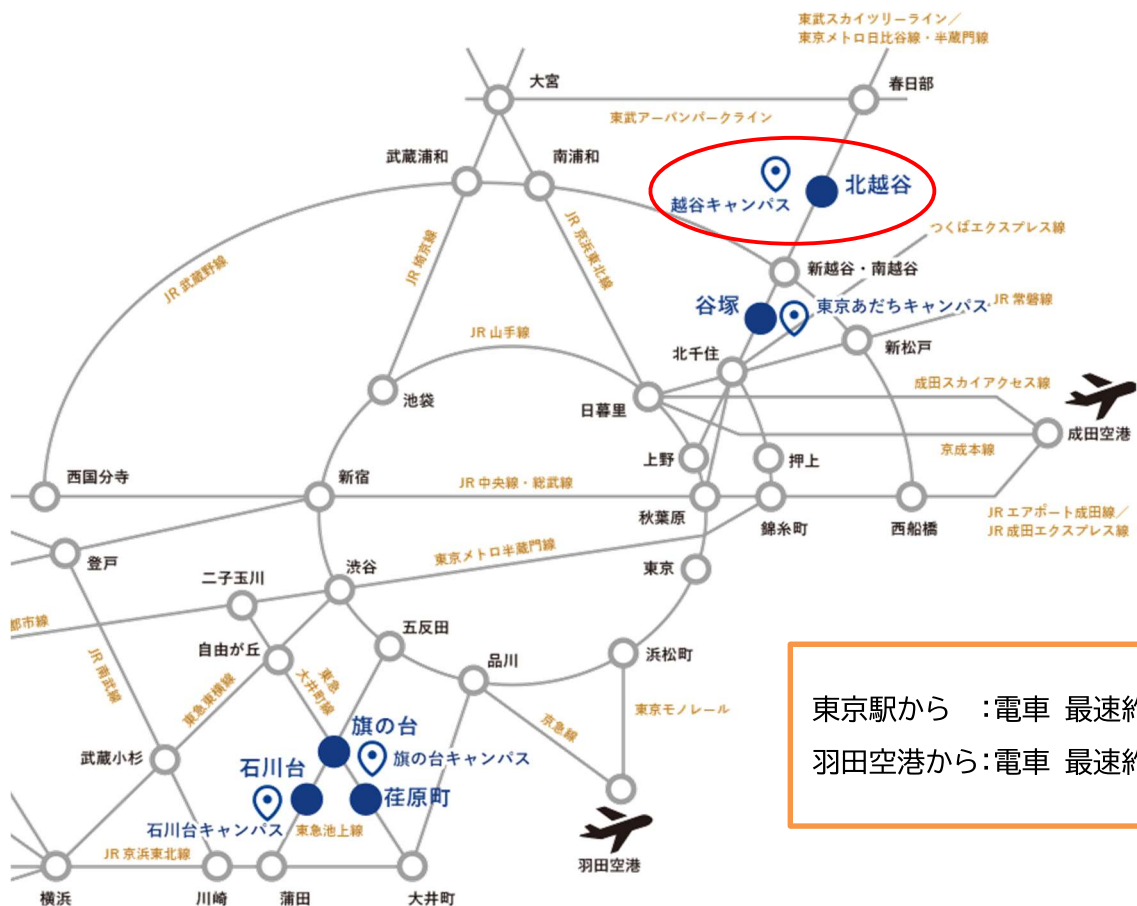
10 クロークについて

クロークを会場に設けております。なお、貴重品は、紛失や破損の責任を負いかねますので、各自でお持ちください。

11 会場アクセス



北越谷駅(東武スカイツリーライン、東京メトロ日比谷線・半蔵門線、東急田園都市線(直通乗り入れ))
西口下車徒歩約 10 分



(文教大学ホームページより抜粋、詳細はホームページをご参照ください。)

<https://www.bunkyo.ac.jp/access/koshigaya/>



☆口頭発表応募方法・留意事項

口頭発表(研究発表・実践発表)の申し込みを希望する会員は、応募要領をご参照の上、口頭発表申込フォームからエントリーして、メールによる発表原稿等を不備のないように、

6月15日(土)24:00 必着でご応募ください。

***口頭発表申込受付期間:5月13日(月)~6月15日(土)24:00**

応募要領

(1)発表者の応募資格

- 1) - 1 応募の時点で本学会の会員資格を有する者(入会手続き中のものも含む)
 - 1) - 2 2024年6月15日(土)までに2024年度までの学会費を納入済の者
 - 2) 共同発表の場合は、1名でも1)に該当しない場合は、受理することはできません。
 - 3) 発表応募者(共同発表者を含む)は、早期登録及び大会参加費の振込を完了してください。
- ※1)から3)の条件を充たさない場合は、大会直前であっても発表を取り消すことがあります。

(2)発表の応募方法

- 1) 以下の口頭発表申込フォーム(<https://forms.gle/K1RiA7eYSvaSeUFPA>)よりエントリーいただき、【自動配信メール】を受け取っていることを確認して下さい。
なお、申込フォームには、①氏名、②所属、③連絡先(住所及び連絡可能な電話番号、メールアドレス)、④希望する発表形態(研究発表/実践発表)【下記(3)の3参照】、⑤題目、⑥共同発表者氏名(单独の場合は不要)をご記入下さい。



- 2) 次に、大会事務局(E-mail:jsssw2024@gmail.com)に、件名を「口頭発表」とし、本文に①氏名、②所属を明記し、「要旨集掲載原稿」、「第18回大会口頭発表における要旨集掲載原稿提出用チェックリスト」を添付の上、**6月15日(土) 24:00 必着**でご応募ください。

(3)発表における留意事項

- 1) 口頭発表は、1会員1演題に限ります。そのため、応募については必ず筆頭発表者が行うようにして下さい。
- 2) 同一テーマによる発表は、「その(1)」「その(2)」までとします。ただし、内容が別の研究と認められる場合に限り、また、当日の発表においても、各々が独立した発表として行うため、時間を連続して発表を続けることはできません。
- 3) 口頭発表の形態は、自らの研究の成果を発表する「研究発表」と、自らの実践を基にして発表する「実践発表」の2種類とします。発表応募者は、発表の種類を選択したうえで要旨集掲載原稿を作成して下さい。
- 4) 要旨集掲載原稿は学術的文献として公表されます。内容を十分に吟味したうえで、原則として、**研究の目的、方法、倫理的配慮、結果、考察等の各項に分けて記述**して下さい。この形式で作成されてい

ない原稿については、発表を認めない場合もあります。

- 5)口頭発表の可否は、理事会の審査で決定し、審査結果については7月上旬頃までに大会事務局より各応募者へご連絡いたします。その際、要旨の内容により、発表の種類を変更していただく場合もあります。
- 6)倫理的配慮については、後記の「日本学校ソーシャルワーク学会 第18回大会口頭発表における倫理的配慮について」を読んで、十分に留意してください。
- 7)「第18回大会口頭発表における要旨集掲載原稿提出用チェックリスト」のチェック項目を確認し、回答したチェックリストとともに原稿を提出してください。
- 8)口頭発表が決定した後、急なキャンセル等をされないように留意してください。

(4)要旨集掲載原稿の作成要領

1)書式

「要旨集掲載原稿の書式」を参考にして、A4版2ページで作成してください。字数は目安として、Word・MS明朝にて本文3,358字(23字×146行)となります。PDFファイルは受理できませんのでご注意ください。本文とは別に、文頭6行を題目・発表者氏名・所属機関・キーワードを挿入してください。なお、連名発表者がいる場合は、筆頭発表者氏名の前に○印を付けてください。また、本文の最後に発表者氏名をローマ字にて記載してください。

2)図・表

図と表は最小限に止め、写真は使用しないでください。

3)事例

事例等の記述については、プライバシー保護の観点から、関係者からの承諾等の基本的な倫理規定を遵守してください。なお、要旨には倫理的配慮の内容を明記してください。記載内容が不十分な場合や記述がない場合は、発表が採択されないことがあります。

(5)当日の発表用原稿(レジュメ)の作成

- 1)当日の発表用原稿(スライド等のレジュメ含む)のデータを7月31日(水)までに大会事務局(E-mail: jsssw2024@gmail.com)に、件名を「当日の発表用原稿」としてお送りください。大会ホームページに掲載する当日の発表用原稿(スライド等レジュメ含む)のファイル形式はPDF形式でお願いします。期日までに提出がない場合は発表辞退とみなします。要旨集掲載原稿および当日の発表用原稿(スライド等レジュメ含む)の他、8月1日(木)以降に追加資料がある方は、各自にて100部ご用意ください。なお、会場での印刷は、一切対応致しかねます。予めご了承ください。

(6)当日発表にあたっての留意事項

- 1)1演題の発表時間は、【発表時間20分 質疑応答15分 計35分】の予定です。なお、すべての口頭発表終了後、教室ごとに総括討論を行いますので、発表者はご自身の発表終了後も教室にお残りください。
- 2)パソコンを使用する場合には、原則として、大会事務局で用意したパソコンをご使用いただきます。
- 3)発表用のデータは、各自のUSBメモリにて当日ご持参ください。8月25日(日)9:00~9:20を発表者の準備時間といたしますので、パソコンの操作確認等も含めて、事前のご対応をお願いいたします。
- 4)その他、当日の変更点等生じた際には、大会事務局より連絡いたします。

重 要

日本学校ソーシャルワーク学会 第 18 回大会口頭発表における倫理的配慮について

この配慮は、独立行政法人日本学術振興会「科学の健全な発展のために―誠実な科学者の心得―」2015年2月、文部科学省大臣決定「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」2015年8月、国立研究開発法人科学技術振興機構「研究者のみなさまへ―責任ある研究活動を目指して―」2017年10月等を参考にして作成しております。口頭発表に向けて取り組む際には、必ずお読みください。

1. 研究データ・資料の開示、論理の展開、結論の提示等が、正確で客観的なものになっていますか。

研究成果の発表には、研究者相互間の吟味・批判によって成り立つチェックシステムへの参入の意味があります。したがって、研究活動によって得られた成果は、可能な限り正確かつ客観的で検証可能なデータ・資料を提示しながら公開され、論理的な考察によって結論に到達していることが望まれます。

2. 先行研究等を調べて、発表しようとする研究の意義を明らかにしていますか。

すでに研究結果が明らかになっているテーマについて、新たな研究上の意義付けを行わずに繰り返して発表することは研究倫理に反します。先行する研究との関係において自らの研究を位置付けることが必要です。

3. 著作権等の侵害がないように配慮していますか。

文献から本文を引用する場合は、出典（文献）とともに引用箇所を明記してください。図・表の転載についても同様です。既存の尺度を使用する場合は、必要に応じて尺度の作成者から許諾を得たことを記載し、出典（文献）を明記してください。

4. 研究対象者等を特定されないように、個人情報に配慮していますか。

研究対象者の個人情報に配慮し、論文や発表要旨等の記述内容から研究対象者が特定できないようにすることが必要です。研究根拠を示すために、どうしても個人情報を掲載せざるを得ない場合には、当該利害関係者から掲載の承諾を得られていることを明記してください。

5. 研究への参加によって対象者への不利益がないように配慮していますか。

研究対象者への負担や不利益を避けるために配慮したこと等について記載することが望まれます。研究依頼の内容と方法（自由意思による同意等）、予測されるリスクと対策、研究データの取扱い・公表等、研究の全過程において、どのような倫理的配慮を行ったのかを簡潔に記載してください。

6. 法令が遵守されていますか。

研究の実施にあたっては、法令や関係規則が遵守されていなければなりません。

題目（主題）

題目（副題）

氏名

（所属）

Key Word（3つまで）

1行あける

1 研究の目的

33行分

*文字の大きさは10ポイント
を目安とする

4 研究の結果

40行分

段間余白7ミリ

2 研究の方法

23字分

23字分

3 倫理的配慮

余白20ミリ

余白20ミリ

上余白 22 ミリ

5 考察

40 行分

40 行分

余
白
20
ミ
リ

段
間
余
白
7
ミ
リ

余
白
20
ミ
リ

23 字分

23 字分

(Name) Hanako Tokyo

下余白 22 ミリ

第 18 回大会 口頭発表における要旨集掲載原稿提出用チェックリスト

- ・作成した原稿について、以下の項目を確認しながら回答欄にチェックしてください。
- ・本チェックリストをスキャンして、投稿原稿と一緒に提出してください。
- ・審査結果によっては、原稿の修正等をお願いする場合があります。
- ・審査結果によっては、発表を採択しない場合があります。ご了承ください。

1 エントリーの資格について

	チェック項目	回答 (レ)
1	発表者全員が、日本学校ソーシャルワーク学会の会員である	
2	発表者全員が、2024 年度までの会費を滞りなく納入している	
3	発表者全員が、早期登録及び大会参加者の振込を完了している	

2 書式・様式について

	チェック項目	回答 (レ)
1	原稿は、発表原稿の書式を参考に作成した	
2	原稿は、A4 版 2 ページで作成した	
3	原稿の字数は、Word・MS 明朝にて本文 3,358 字 (23 字×146 行) 以内である	
4	本文とは別に、文頭 6 行に、題目・発表者氏名・所属機関・キーワードを挿入した	
5	連名発表者がいる場合、筆頭発表者氏名の前に○を付けた	
6	発表は、実践発表である	
7	発表は、研究発表である	
8	研究の目的、方法、倫理的配慮、結果、考察等の各項に分けている	
9	本文の最後に発表者氏名をローマ字にて記載した	
10	図と表は最小限にとどめ、写真は使用していない	

3 倫理的配慮・個人情報の取り扱いについて

	チェック項目	回答 (レ)
1	研究にあたり、研究協力者や関係者の同意を得ている	
2	事例を使用している場合、個人が特定される記載はない	
3	学校名や所属名を記載している場合、掲載の了解を得ている	
4	個人が特定される内容を記載している場合、本人・保護者に掲載の了解を得ている	
5	個人等を記載している場合、本文に「掲載の了解を得ている」旨を明記した	
6	原稿の内容は、二重投稿・二重掲載ではない	
7	虚偽の記載をしていない	
8	研究の目的、方法、倫理的配慮、結果、考察等の各項に分けている	
9	文章やデータの盗用をしていない (文中に引用した場合、文献等の記載がある)	
10	本文中に、個人情報保護等の倫理的配慮に関する記載をした	

第 18 回埼玉大会専用ホームページは、近日公開予定です。

大会事務局

*** 学会事務局ではありませんのでご注意ください**

ご質問やご不明な点等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。

E-mail : jsssw2024@gmail.com

(担当：津久井 康明【東京成徳短期大学】)